



次代のはやしこを担う子どもたち(由來八幡宮)



奮闘する子ども獅子舞(来嶋神社)



子どもも立派なはやしこの一員です
(由來八幡宮)



糸乱れぬ投げパイ(由來八幡宮)

はやしこ

天高く舞上がるパイ
(由來八幡宮)

時代を越えて 受け継がれる美しき伝統

今年も町内各神社の例祭に併せて“はやしこ”が奉納され、華やかなはやしこの一行が各地域を練り歩きました。
飯南町にも昔から伝わる様々な伝統芸能・行事がありますが、

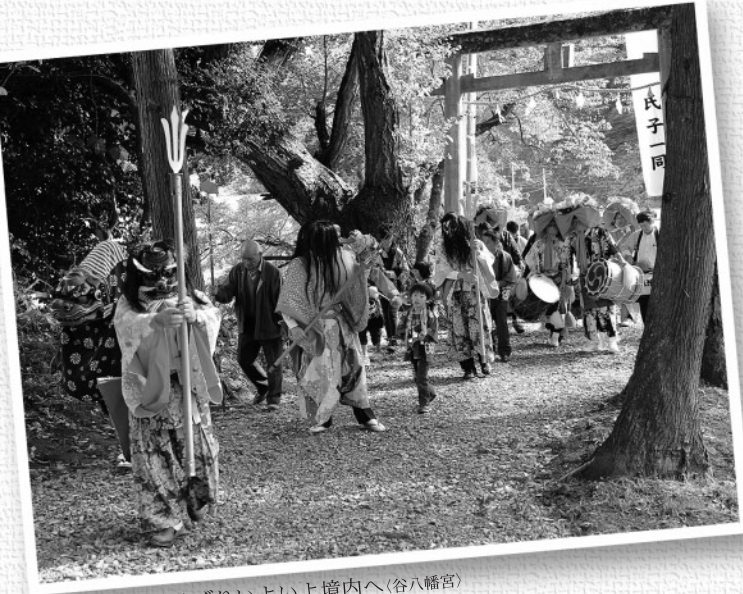
時代が大きく変化する中にもあっても廃れることなく続いてきたこの行事が、いつまでも続いていってほしいと願うと共に、現代を生きる我々の世代には、正しく次の世代に伝えていく責務があると強く感じます。

その中でも地域の多くの人々が実際に参加するという点で、最も身近な伝統行事と言えるのではないのでしょうか。
頓原町誌や赤来町史によると、はやしこの起源は定かではないと記されていますが、かつては例祭のときだけではなく、田植えや牛供養のときにも行われていたようです。

調子を合わせるササラ摺り
(志々乃村神社)



田園風景の中を進むはやしこ(赤六八幡宮)



鳥居をくぐりいよいよ境内へ(谷八幡宮)

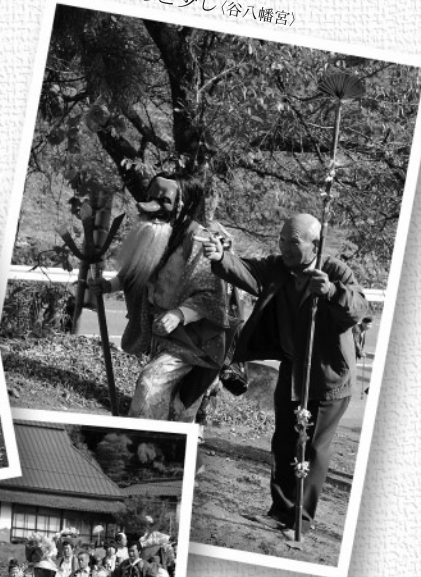


最後は輪になって打ち鳴らします(赤六八幡宮)

重厚な鼓の響き(来嶋神社)



境内まであと少し(谷八幡宮)



美しき里山の風景(谷八幡宮)



秋の空に鳴り響く笛の音
(志々乃村神社)